



申8号2022年度夏季手当第2回交渉!

6月3日(金)申8号「2022年度夏季手当の支払いに関する申入れについて」第2回交渉を開催しました。

会社側から資料として、損益推移・景気動向指数・外国為替相場・原油価格・金利動向・期末手当の推移等が提示され議論を行いました。

組合側

- ◎組織再編・新しい働き方・会社施策に対する取り組みへの頑張り
- ◎3月16日発生した福島県沖を震源とする地震被害の早期復旧
- ◎新型コロナウイルス感染症対策の社員の取り組み
- ◎物価上昇による将来への不安
- ◎生活設計に対する夏季手当の重要性

社員の頑張りと将来への期待を夏季手当という一つの形とし、モチベーションアップにつなげ、将来にわたり会社とともに持続的発展するには不可欠であると主張しました。

また、雇用不安はさせてはならない。厳しい現状と認識するが、会社に最大限の支給を熟考していただき夏季手当支給による社員還元と家族への幸せにつなげて欲しいと強く要請しました。

会社側

- △会社は2年連続の赤字
- △変革2027実現へ向けた取り組み
- △新型コロナウイルス感染症の影響でコロナ前には戻らないと認識
- △ウクライナ情勢等世界情勢の先行きが不透明
- △企業物価上昇による経営への影響

2年連続の赤字であるが赤字幅は減少している。しかし、円安、原材料費の上昇、原油価格高騰による動力費の増加等、先行きをみると総合的に慎重に判断しなければならない。

働きがいのある会社・労働条件向上に取り組もう!
～「JR東日本の未来づくり」へ～